

千葉銀・横浜銀 学生ビジネスコン

千葉銀行と横浜銀行は、学生がビジネスアイデアを提案する「ちばぎん・はまぎん学生ビジコン2020」の表彰式を千葉銀行本店(千葉市中央区)で開催した。過去最多の応募総数84件の頂点となる大賞には、「段ボール家具」の製造・販売を提案した東京大学1年の上田航太さん(19)のグループが選ばれた。進級や就職で引っ越しが多い大学生の家具選びの悩みを解決するアイデアが評価された。

コンテストは将来、地域経済の担い手となる学生の起業マインド向上を目的に千葉銀行が2012年に創設。これまで31件が入賞し、8件が起業した。今回は初めて、業務提携している横浜銀行と共催し、両行の営業エリア内(千葉県、神奈川県、東京都など)に在住、在学する学生を応募対象とした。新規性や独創性、地域活性化に

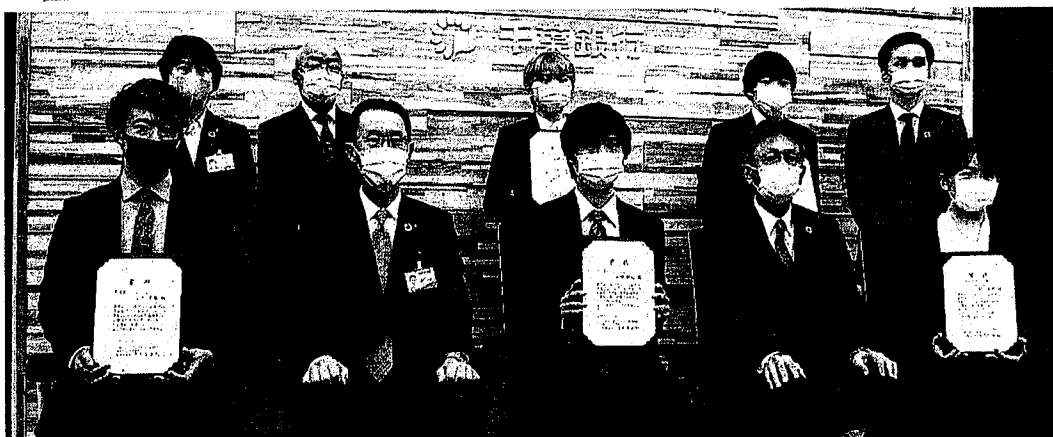
取りした結果、予算や部屋の広さの制約で好みの家具を買えていない学生が多かった。進級によるキャンパス移動と就職で引っ越しが多く、処分を見据えて家具を購入する必要もあった。

大賞に上田さん(東大1年) グループ

便利引越し 段ボール家具

大きさ自在
処分も簡単

「ちばぎん・はまぎん
学生ビジコン2020」の
受賞者ら＝千葉市中央区

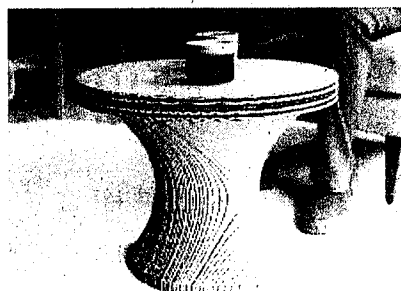


その他の受賞者は以下の通り。(敬称略)

ESGアイデア賞＝「ファーム助川」(代表・助川由樹＝中央大学、規格外の地元農産物を使用した冷凍スムージーの生産・販売)

ちばぎんアイデア賞＝阪田和佳子(千葉大学、ソーラーパネル搭載の自家発電型キャビンを使ったお試し起業支援)

はまぎんアイデア賞＝「チームReLife」(代表・関芳実＝横浜市立大学、廃棄する災害備蓄品がある企業と需要のある高齢者施設などをつなぐサービス)



カミカグが販売している
段ボール製のテーブル
(カミカグ提供)

つながるかなどを基準に千葉銀行と横浜銀行の部長、ベンチャー企業の役員らが審査した。大賞に輝いた上田さんらのグループ「カミカグ」は、一人暮らしの大学生が家具選びで悩みを抱えていることに着目。大学生に聴き

上田さんは「文理問わずいろいろな仲間とアイデアを出し合った。副賞の30万円は素材の改良や販売拡大のために使う」と語った。準大賞には、千葉大学大学院修士1年の小川良磨さん(24)のグループ「チーム トモクラウド」が選ばれた。リンパ浮腫を早期発見する診断機器の開発・販売を提案した。